

ハナシ語りの 民俗誌

川島秀一「著」

耳と口が生きていた時代とは、
心も生きていた時代であった――

身近に溢れていた「ハナシ語り」は、
どのような場で生まれ、伝え、記
録されたのか。「ハナシ語り」が生
き生きと行われ、自在に再生産さ
れる場に寄り添ってきた著者の体
験から、人びとにとつての「ハナシ語
り」の場の意味と機能を考える。



3520 円

古文書 修復講座

歴史資料の継承のために

神奈川大学日本常民文化研究所「監修」
関口博巨「編」

歴史資料を残し、伝えていくために――

傷んでしまった紙資料の保存・
管理の方法論を検討し、豊富な
カラー写真とともに紹介。博物
館・資料館・図書館等、古文書を
取り扱う方々に必携の書。



4180 円

「本読み」の民俗誌

交差する文字と語り

川島秀一「著」

地域社会で、(本)や、(読む)ことと(書く)
ことは、どのような意味を持っていたのか。
三陸地方を中心に、ホンヨミに触れてきた人
びとへの直接取材から、民俗社会を描き出す。

3850 円

コレクシヨンと歴史意識

「好古家」のまなざし

古畑侑亮「著」

書籍や古器物の蒐集に明け暮れた「好古家」
のコレクシヨンと歴史意識、学知が確立する
以前の在野における歴史研究の実相とアカ
デミズムへの継承を描き出す画期的著作。

11000 円

伝承と現代

民俗学の視点と可能性

加藤秀雄「著」

伝承を、変わりゆく動態的なものとして捉
え返し、人びとの生活世界における伝承の
実態を、人びとに分野、現代における伝承の力
を問い直す意欲作。

8800 円

パブリック・ヒストリー 入門

開かれた歴史学への挑戦

菅豊・北條勝貴「編」

歴史実践の現場から、歴史を考えた歴史を生
きる営みを紹介。人間と歴史との関わりを
考え、日常に活かしていくための知識と方
法を伝える貴重な一冊。日本初の概説書！

5280 円

広益体 妖怪普及史

伊藤慎吾・水厘亭氷泉・式水 downstream
永島大輝・幕張本郷猛・御田敏・毛利惠太「著」

妖怪学のウラに潜む、「妖怪の情報」の
流れを、多彩な切り口で徹底追跡!!

現代一般に認識されている妖怪
のイメージは、どのように形成さ
れ、普及したのか。自然の流れか
恣意的なものか。「研究者」「紹介
者」「創作者」の3つの視点から、
多角的に考察。「妖怪ブックガイ
ド1111」も付す。



3520 円

機巧の 文化史 異聞

海を渡った

三台のからくり人形

村上和夫「著」

江戸時代のからくり人形は、
なぜ異国に渡ったのか。

わずかな痕跡を残し消えた高度
なからくり人形の謎に迫るた
め、近代的エンジニアの先駆け
田中久重の生涯を足がかりに、
製作の歴史と文化創造の過程を、
丹念に追う。貴重写真を含む、約
100枚の図版を掲載!



4950 円

列伝体 妖怪学前史

伊藤慎吾・水厘亭氷泉「編」

現代の妖怪学に影響を与えた23人を、250点
超の貴重図版とともに紹介。通史、妖怪学
名彙、コラム、妖怪学参考年表などを付し
た、妖怪学のルーツを紐解く一冊。

3080 円

霊峰の文化史

世界遺産・富士山と世界の山岳信仰
秋道智彌「著」

信仰の対象とされ、さまざまな神話を持
ち、その土地独自の方法で祀られる「霊峰」
世界各地の山やまを、多数の図版とともに
解説。ヒトが山に込める想いを解き明かす。

3520 円

この世のキワ

「アジア遊学 239」
〈自然の内と外〉

山中由里子・山田仁史「編」

「驚異」と「怪異」の表象を、ユーラシア大陸の
東西の伝承・史料・民族資料・美術品に探
り、「自然」と「超自然」の境界領域、「この世」
と「あの世」の心理的・物理的距離感、境界に
立ち現れる身体・音・モノなどについて考察。

3520 円

今昔物語集の怪異を読む

巻第二十七「霊鬼」
森正人「著」

「本朝付霊鬼」巻に収録される四十五の物
語について、読みやすい本文に注釈を附
し、考証・分析・批評。平安時代の人びとの
心性を探る。

5280 円